

MITO COMMERCIAL HIGH SCHOOL



水商PTA奨学会

発行所
茨城県立水戸商業高等学校
PTA奨学会
〒310-0036 茨城県水戸市新荘3-7-2
TEL 029-224-4402 (4403)
FAX 029-225-4376
E-mail: ac-koho@mito-ch.ed.jp
発行人
会長 八島 進也
編集 渉外部広報係



PTA奨学会会長 八島 進也

世界に羽ばたく水商生

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業まことにめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、日頃より水戸商業高等学校PTA奨学会へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今から3年前、皆さんは高い競争率を勝ち抜いて水戸商業高等学校に入学しました。中学校までの義務教育とは大きく異なり、更に商業という新たな専門科目を学ぶ本校を選択し、不安な気持ちもあつたことでしょう。しかし、それ以上に希望に満ち溢れた高校生活を期待して入学してきたにがいありません。

希望と不安を抱いていたのは卒業生の皆さんだけではなかったはずです。保護者の皆様におかれましても、お子様が自らの意志で選んだ本校での新しい生活です。現在の学生はコロナ禍を経験し、今では当たり前となったIT技術を活用したタブレット端末による授業や課題の提出、少し前までは想像もしてこなかった新しい学校の姿ですから当然でしょう。

水戸商業高等学校に入学し、最初に感じたのは校長先生、最初感じたのは校長先生

生をはじめ教職員の方々の温かさではないでしょうか。常に生徒ファーストを信念とし、授業はもちろん、検定試験合格などの学業、修学旅行やクラスマッチそして文化祭といった学校活動、各種部活動やクラブ活動に対して全力でサポートしてくれる顧問の姿など、とても暖かい学校であることを肌で感じたのではないのでしょうか。

水戸商業高校の特徴は、120年以上続く歴史ある伝統校であるのももちろん、運動部の地域移行が進む中、県立校でありながら、現在も文武両道の精神を受け継いでいることです。事実、運動部、文化部への入部率が80パーセント以上と非常に高く、更に全国大会、関東大会そして県大会と各種大会において優秀な成績を収めていることです。専門教科の学習に加え各種検定試験においても合格率が高く、取得が難しい検定試験の合格者を多く出しているのも本校の特徴といえます。入学からの3年間は、卒業生にとって「あつ」という間違ったのではないのでしょうか。卒業生の皆さんにとって水戸商業高校で送った高校生活は楽しいことばかりではなく、

時には辛かったこともあったでしょう。しかし、本校で過ごした3年間は唯一無二の貴重な財産です。高校を卒業すると、再び自ら選んだ進路に向かつて歩き出さなければなりません。本校の卒業生は、迷ったとき、不安な気持ちに負けそうになったとき、本校で送った3年間の経験がきっと

と助けてくれると信じています。最後にありますが、卒業生の皆さんにおかれましては、世界に羽ばたく水商生として活躍されることを楽しみにしています。保護者の皆様におかれましては、3年間お子様をサポートしていただき、感謝の言葉しかありません。そして、校長先生をはじめ教職員の皆様、3年間、つねに生徒を第一に考え邁進していただき、大変感謝しております。卒業生の皆さん、保護者の皆さん、校長先生をはじめ教職員の皆様、そして、卒業生を見守ってこられた関係者の皆様、ご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



校長 広戸 純

感受性を育む

保護者の皆様には、日頃より本校PTA奨学会の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。また、卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様が3年間の高校生活を終え、晴れの門出を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。

学校教育において、変化が激しく予測困難な時代の中でも通用する「確かな学力」を育むことが求められています。本校では、ICT活用を推進するなど、授業の充実を前提に、クラスマッチ・修学旅行・水商祭など、様々な学校行事を実施し、生徒たちにとって、貴重な経験や学びの機会を重ねることで、社会の一員としての様々な資質・能力を育むことができたと考えております。

校長講話において、生徒たちに「感受性」に関する話をしています。「感受性」を、プラスに捉えれば、感受性が強い人は、基本的に心が優しく、思いやりにあふれている魅力ある人であるといえます。マイナスに捉えれば、人よりも喜びや悲しみを大きく感じるため、繊細で傷つきやすい心の持ち主であるともいえます。プラスの捉え方を意識して、「感受性を高める・豊かにする」ための行動を実践した生活を送ってほしいと考えています。そのための5つの行動例を紹介します。

- ① 感受性を、共感力と捉える。
- ② 相手や周囲の人を観察する。
- ③ 読書や映画鑑賞をする。
- ④ 苦手なことをやってみる。
- ⑤ 多くの人と関わる。

日常生活の中では、あまり意識せずに実践している人が多く、

贈る言葉

教頭

西連地 由浩

三年生の皆さん並びに保護者の皆様、ご卒業、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。入学した当時を振り返ってみると、この三年間はあっという間だったのではないのでしょうか。皆さんの学年は中学一年生の一月からコロナ感染症の影響を受け、日常生活や学校生活がこれまでとは一変してしまいました。そして、高校二年生の五月よりコロナが五類感染症に移行し、少しずつ従来の活動ができるようになりました。世の中の常識は、時代とともに見直されています。コロナ禍を経て、会社に出勤せず、自宅などで仕事をするテレワークが浸透しました。また、オンライン会議も普及して、会場へ移動することがなく、会議に参加することができ、多くの人が日常当たり前に思っていることは、身の回りにあふれています。このように時代が変われば当たり前ではなくなることは、これからたくさん出てくることでしょう。多様な価値観が尊重されている現代、勉強して知識を蓄えることはこれまで通り大切ですが、自分の考えを持つことはもっと大切なことです。自分にとって、あるいはこれから時代に必要とされる学びは何かを考えると、これからも学び続けてください。皆さんの暮らしや人生が豊かになり、日々が充実

するような学びとの出会いがありますように。

ただ、何かを頑張ろうと意気込みすぎても、なかなか続きません。それでなくとも、この時代先行き不透明です。双六のように、平面でゴールまで先が見通せるような世の中ではなく、なっているように思います。そして、何かとストレスの多い世の中です。

そこで、ことわざに「笑う門には福来たる」とありますが、笑ってみましょう。笑いの健康効果についての研究が進み、笑いには、免疫力アップの効果があるそうです。笑うことで、ナチュラルキラー(NK)細胞が活性化され、病原体などから体を守る力が強くなるそうです。落語を見る前後でNK細胞を調査した実験では、落語で笑った後のNK細胞の活性が四〇%前後上昇したそうです。また、副交感神経が優位になりストレスホルモンの分泌低下、酸素摂取量が増加し脳が活性化しているそうです。さらに、楽しいと感じていくことで、にっこりした表情を作ってみることで効果があるそうです。

学びの話に戻りますが、自分にとって必要な学びが決まったら、無理なくできることを、無理のない範囲で、決めた日から始めてみましょう。そして笑顔忘れずに。

卒業にあたり

第三学年主任

長洲 直樹

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとって三年間はどのようなものとなったのでしょうか。きっとそれぞれの想いがあることかと思えます。そして、その中には楽しかったこと、辛かったことなど、様々な想いが交錯していることかと思えます。

皆さんはこれからまた新たな道を進んでいくわけですが、その道を進んでいく上で、皆さんのこれまでの経験が生きてきます。そして、その経験を今後はどう生かすかがとても大切になってきます。

経験には成功と失敗があります。そして、失敗の後には後悔か反省があります。どうか皆さんには、もし何かに失敗したとしても、後悔だけで終わるのではなく、反省してその経験を次に生かす人生を歩んでほしいなと思います。後悔は何も生み出しません。反省は今後の糧になります。

もうひとつ、これからの時代を生き抜くためには、三つの必要な力と一つの大切な精神があると思っています。三つの力とは発想力、行動力、考察力。大切な精神とは不屈の精神です。

人からの指示を聞き、それをこなすことで生きていくこともできると思います。ですが、皆さん一人ひとりが主役となって生きていくためには、様々なアイデアを思い浮かべる発想力、考えたことに對し失敗を恐れず実行に移すことのできる行動力、その結果を踏まえ、今後どうすべきか分析する考察力が必要です。また、不屈不屈とは、「強い意志を持ち、どんな困難や苦悩にも挫けない」という意味があります。三つの力を持つていたとしても、根幹にこの精神がなければ何も成し得ることはできません。一度や二度の失敗で挫けない強い心、何度でも挑戦しようという強い意志。どうかこれから的人生において、この力と精神を培っていきましょう。

保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠にありがとうございます。また、日頃より本校の教育活動に對しまして、惜しみないご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の深いご理解があったからこそ今日この日を迎えることができました。三年間、本当にありがとうございました。

水商生活

生徒会長

大崎 琉菜

先生から卒業生代表の言葉をお願いされたとき、初めて卒業を実感し、時が経つ速さに驚きました。もう少し高校生のままでいたいという思いもありますが、こうして新たな一歩を踏み出す時が来たのだと感じています。

振り返れば、この三年間は楽しいことだけではありませんでした。検定試験や進路選択、数えきれないほど自分の限界と向き合った瞬間がありました。特に検定試験では、夜遅くまで問題集と向き合い、つまずいた箇所にも悩む日々が続きました。そんなときに支えてくださったのが先生方です。お忙しい中、私たちの質問に丁寧に答え、「君ならできる」と励ましてくださった先生方の言葉に、どれだけ勇気をもたらしたことでしょう。あの瞬間にいただいた支えが、合格の喜びに変わったときの感動は、一生忘れられません。

また、学校行事では仲間と力を合わせるこの大切さを学びました。文化祭やクラスマッチでは、意見が衝突し、自分の意見に自信を持てなくなることもありました。小さなアイディアを積み重ね、試行錯誤を重ねた結果、成功をつかむことができました。あのとき、仲間と一緒に笑い合ひ、喜びを分かち合った瞬間は、私たちの心に深く刻まれています。

そして、生徒会長としての日々はとても苦しいものでした。責任感とは何か。いい生徒会長とは何か。たくさんチャレンジしました。たくさん涙を流しました。それでも、やりたかった事は全部やれませんでした。計画を立て、これで大丈夫だと自信を持ってやったことも簡単に行きませんでした。でも、私は諦めません。ここで得た忍耐力とチャレンジ精神を武器にいろんな事に挑戦し続け、いつか私と同じように挑戦する生徒の後押しができるような先生になりたいと思います。

今、改めて振り返ってみるとこれまでの事は全部、決して一人では達成できなかったと思います。先生方や仲間たち、そして私たちが温かく見守り続けてくれた家族がいたからこそ、困難を乗り越え、ここまで成長することができました。

卒業を迎える私たちは、これからそれぞれ新しい道を歩み始めます。これからの道はきつと平坦ではありません。しかし、この三年間で得た仲間との絆、先生方の教え、そして自分を信じて努力する力を胸に、どんな困難も乗り越えていけると信じて前に進んで行きたいと思っています。

最後に、これまで支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。そして、私たちはこれから未来に向かって力強く歩んでいきます。いつかまた、皆さんと笑顔で再会できる日を楽しみにしています。ここまで読んでくださり本当にありがとうございます。長いと最後まで読むの疲れちゃいますよね。(笑)

進路指導部

(令和七年二月十八日現在)

七十六名

東京モード学園
一名

東放学園専門学校	一名
・成田航空ビジネス専門学校	一名
・日本工学院専門学校	一名
・日本電子専門学校	一名
・H A L 東京専門学校	一名
・武蔵野調理師専門学校	一名
・山野美容専門学校	一名
・横浜フアッションデザイン	一名
専門学校	一名



第2学年では、11月29日から3泊4日で沖縄に修学旅行に行ってきました。沖縄の自然・文化について見識を広めるとともに、戦争や平和について考えを深めることができました。また、友達との楽しい思い出をたくさん作ることができました。

修学旅行で学んだこと

二年一組 大高 結菜

私は、この修学旅行で初めて沖縄を訪れました。普段テレビなどで沖縄の美しい海をよく目にしますが、自分の目で近くから見る海は、写真や映像で見るよりも想像を超える美しさでした。

初めてのマリン体験では、バナナボートに友達と一緒に乗り込み、スピード感あふれる体験に大興奮しました。波に揺られながら、海の爽快感を楽しみました。途中で落ちてしまった先生や友達を見て、みんなで笑いあい、楽しい思い出が増えました。

また、沖縄では、戦争の悲劇と平和のありがたさを学びました。ひめゆり平和祈念資料館には、思わず目をそむけなくなるような写真や胸が痛くなる話もありました。平和の礎には、戦争で犠牲となった数多くの名前が記載されて

おり、その中で、何の罪もない幼い子供たちの命を奪ってしまう戦争の恐ろしさを学びました。

沖縄は、きれいな海のある有名な観光地ですが、そのような美しい島で、このような戦争の悲劇があったことを忘れてはいけないと思いました。



修学旅行の思い出

二年四組 浅野 美羽

私は初めてのことでかなりの修学旅行に、不安と期待を抱えながら沖縄に向かいました。事前に楽しみにしていたことが二つあります。一つ目は平和学習です。平和学習では、ひめゆりの塔と平和祈念公園を訪れました。特に印象に残ったのは平和祈念公園です。平和祈念公園では、平和の礎を目にして大きな衝撃を受けました。そこには沖縄戦で犠牲となった方々の名前が刻まれており、地上戦の恐ろしさを感じました。また、資料館では、当時の写真や爆弾の破片などが展示されており、戦争の残酷さを改めて実感しました。二つ目はマリン体験です。私はドラゴンボートに乗り込みました。1回目に乗ったときは手を離せるくらい余裕がありましたが、2回目は激しく揺れ、しっぺつかまっていたと落ちそう

修学旅行の思い出

二年六組 住谷 彩音

になるほどでした。体験後は、友達と砂浜で砂山を作ったり、貝殻を探したりして、とても有意義な時間を過ごしました。修学旅行を通して、沖縄の文化や自然、そして平和の尊さを学ぶことができました。この体験は一生の思い出になると思います。

まず、国際通りでは、家族へのお土産を買ったり、沖縄ならではの食べ物や飲み物をたくさん食べました。多くのお土産屋が並んでおり、私たちが悩んでいると気さくな店主が安く買えるお店やおすすめのス

キー屋を教えてくださいました。店主のおかげで国際通りをめぐりつばい楽しむことができました。

平和祈念公園・祈念資料館では、戦争を体験した方々の証言集を読みました。イラストもなく白黒の文章なのに戦争の悲惨さや当時の辛さが痛いほど伝わってきました。平和の尊さ、命の大切さを感じることができました。美ら海水族館では、迫力のある大きな水槽でジンベイザメを見ました。ずっと行きたいと思っていた場所だったので友達と訪れることができた一生の思い出になると思います。

今回の修学旅行では、たくさんさんの自然、新しい文化を知り、沖縄の様々な場所に行ってみようと思いました。この体験は一生の思い出になると思います。



クラスマッチ結果

総合優勝	3年2組
総合2位	3年1組
総合3位	2年3組

*球技種目(学年別優勝)

競技名	男子			女子		
	3年	2年	1年	3年	2年	1年
バレーボール	7組	2組	3組	7組	3組	3組
バドミントン	2組	6組	5組	1組	3組	4組
卓球	7組	4組	5組	3組	7組	6組
フットサル	5・6組	1・7組	1・2組			
ソフトテニス				1・2組	3・6組	6・7組
ドッジボール				2・6組	2・6組	1・6組

*陸上・団体種目

競技名	1位	2位	3位
男子2,000Mリレー	3年3組	3年2組	2年3組
女子700Mリレー	1年3組	3年7組	2年2組
綱引き	3年1組	3年2組	2年7組
大縄跳び	1年2組	3年6組	1年3組



クラスマッチ

令和6年
11月14日・15日照れくさくて言えないけど
いつもありがとう

クラスマッチ実行委員長

三年三組 猪瀬 悠

今回のクラスマッチの実施にあたり、協力してくれた全体的人、誠にありがとうございました。そして感謝を一番伝えたいのは、母さん父さんです。この文書はPTAと言うこともあり保護者の方々にニーズを絞らせていただきます。このクラスマッチというものもを考えてみるととても奥が深い。当たり前にスポーツを楽しむ環境や身体があること。それは全てあなたが健康に育ててくれたおかげです。きつとこんないい両親に恵まれなかったら貧弱な人間になっていたに違いありません。学費も全て払ってくれている。「学校だるい」「そんなこと母さんの前と言うんじゃないよ」

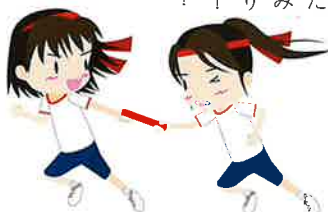
真の王者

三年二組 高橋 琉碧

10月11日。その日3年2組の伝説が始まった。綱引き初戦で優勝候補の3年3組を倒し、勢いに乗った。だが準優勝という結果となり悔しさが

よ。この馬鹿息子。「私たちはもうすぐ大人になります。あと1ヶ月後には働いたり一人暮らしをする人間も出てきます。そんな毎日の中で私たちは母さん父さんのありがたみを実感するのだと思います。その時も一度「ありがとう」を言わせてください。そして我々は何年でも大切に育ててもらったこの体で母さん父さんに恩返しができるよう精進します。そしていつか、子供を授かり立派な人間に育て、世の中に送り出したい。最後に We love our parents.

残った。「まだまだこれからだ。」全員は優勝することだけを考えていた。当日、バレーやドッジボールなど多くの競技で決勝に残り、2組のボルテージは最高潮に達した。応援にも力が入り、一気に団結力が高まっていった。団体種目のリレー。今年も決勝に駒を進めたが、結果は2位だった。私は一歩を詰め、とても気合いが入っていた。「1位で渡して後ろの9人を楽に走らせたい」野球部の意地もあり燃えていた。だが、気持ちが空回ってしまった。とても悔しく何も出来なかったが力を出し切った。後ろの走者に託し、みんなを一生懸命鼓舞した。1位は逃してしまったが、とても熱い瞬間だった。そして運命の結果発表。「総合優勝3年2組」その瞬間全員が叫んだ。「よっしゃあああ！」私は仲間と固い握手を交わした。昨年叶わなかった総合優勝。全員で掴み取ることが出来た。私達が優勝できたのは一人一人の熱い気持ちと団結力があつたから。全員が光り輝いた最後のクラスマッチ、私は一生忘れることはないだろう。みんなありがとう！バモス！



水商祭 2024 結果

* クラス販売

〈純利益部門〉

3年3組 70,291円 (ラーメン)

〈売上高部門〉

2年2組 209,000円 (コロッケ)

* eスポーツ

2年5組 Team 松平健

* カラオケ

3年6組 岩間萌空

「115万キロのフィルム」

最高の2日間

水商祭実行委員長

三年二組 小林 龍生

水商祭お疲れ様でした。ステージでのクラス発表をはじめ、豚汁の販売や、軽音楽部での発表、合唱などがあり、私を知る水商祭の中で、今年が一番楽しかったです。水商祭当日は、手の感覚が無くなるような寒さで、私たちの豚汁がいつにも増して頼



私は、文化祭実行委員長として水商祭に参加し、学んだことが2つあります。それは、時間の経過はあっという間だということと、努力は必ず報われるということです。たくさん練習をして本番に臨んだからこそ、最高のパフォーマンスを披露することができ、過ぎる時間も一瞬だと感じた

情熱に溢れたラーメン販売

三年三組 長岡 永竜

今年度の水商祭は、二日目にあらゆる制限を撤廃した一般公開を行い、よって昨年度に比べより多くの方々の来校が予測されました。他クラスがおしるこや豚汁、ホットサンドなど売れ行きの良さそうな商品を考案するなか、私た



ののだと思います。最後に、水商祭を無事に終えることが出来たのは皆さんの協力が不可欠でした。本当にありがとうございました。私の水商祭が常に最高を更新してきたように、成長し続ける水商祭にこれからも栄光あれ。

誰とも構わず皆で連携し合い、大成功したこの模擬店出店は忘れることはありません。

ちはより楽しさを求め、ラーメンを考案しました。初めは、初日に計百杯を販売し、二日目に計二百五十杯に増量予定でした。ですが、当日必要な販売人数や調理器具数など不透明な点が多い印象でした。初日を走り切ることでできるのかという不安をもちつつ迎えた初日、多目的室手前から校舎内にまで渡る長蛇の列を目の当たりにし、仰天しました。結果初日は十人を超える人数で作業を行い、約四十五分で完売させることが出来ました。思いがけない速さの完売に、急遽二日目は一般公開のことも踏まえ、予定よりさらに百杯増量した三百五十杯を販売することにし、初日に得た知恵を最大限活用することで無事に売り切ることが出来ました。

